

下肢静脈瘤の新治療法

当院の末田院長は広島大学在籍時に国産初の下肢静脈瘤レーザー焼灼装置を(株)ユニタック社(尾道)と開発し実用化しました。

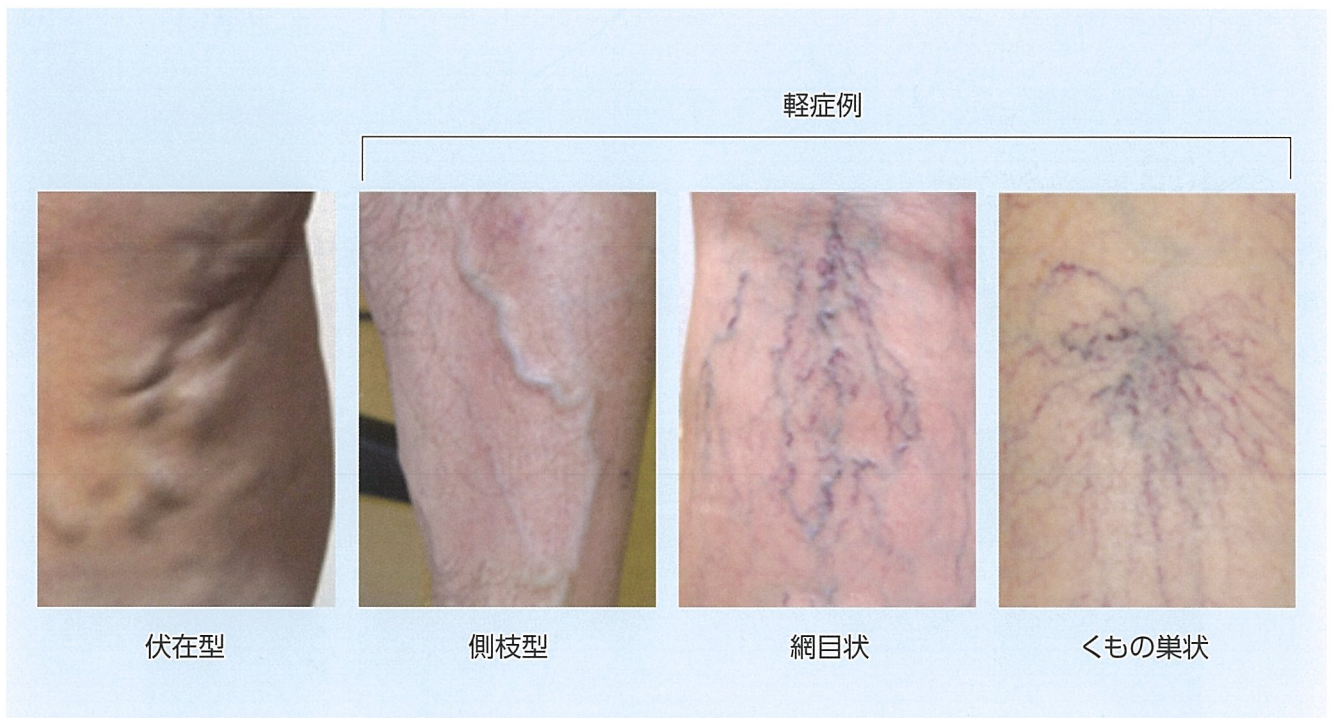
当院は国産レーザー焼灼装置を用いて下肢静脈瘤焼灼治療を行っています。

下肢静脈瘤はごくありふれた病気です。日本では970万人あまりの下肢静脈瘤患者がいると言われています。

長い立ち仕事や何度も妊娠すると下肢静脈の弁不全が起こり血液が逆流して下肢静脈瘤になります。大伏在静脈や小伏在静脈の弁不全で起こる伏在型と側枝静脈に起こる側枝型、表在静脈が腫れる網目状、蜘蛛の巣状静脈瘤があります。



■見ただ目でわかる、下肢静脈瘤



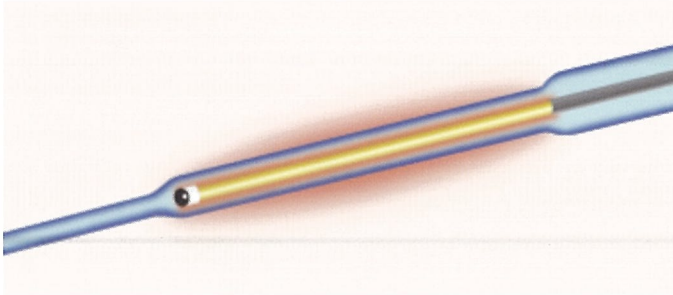
見た目が隆々とした伏在型静脈瘤は下肢がだるくなります。軽傷だと弾力ストッキングの着用で下肢のだるさは止められますが進行すると治療が必要です

下肢静脈瘤の治療法と適応

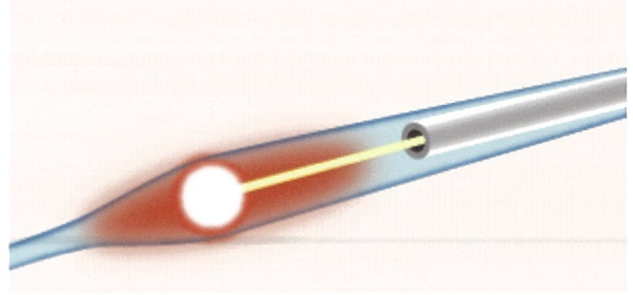
- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ① ストリッピング手術 (大伏在型静脈瘤) | ③ 高位結紮術 (側枝型静脈瘤) |
| ② レーザー焼灼術 (大伏在型静脈瘤) | ④ 硬化療法 (網目状、くもの巣状静脈瘤) |

血管内治療

高周波治療



レーザー治療



	高周波 (ラジオ波)	レーザー
保険適用	○	○
術後の痛み	少ない	少ない
皮下出血	少ない	少ない

伏在静脈を高周波やレーザーで焼いて閉塞させる治療が2019年8月から保険適応されました。国産レーザー治療装置:治療装置はフットスイッチ (7秒間の焼灼で自動停止)、レーザー治療器本体、自動牽引器 (7秒間に1cmずつ自動牽引、助手が不要になる)、1リングレーザーファイバーからなる。



問い合わせ先: 外来 (082) 827-0121